

製品名: CHSY1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08797**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	91kDa

抗原情報

遺伝子名	CHSY1
別名	CHSY1; CHSY; CSS1; KIAA0990; Chondroitin sulfate synthase 1; Chondroitin glucuronyltransferase 1; Chondroitin synthase 1; ChSy-1; Glucuronosyl-N-acetylgalactosaminyl-proteoglycan 4-beta-N-acetylgalactosaminyltransferase 1; N-acetylgalactosa
遺伝子 ID	22856.0
SwissProt ID	Q86X52
免疫原	抗血清はヒト CHSY1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 341-390

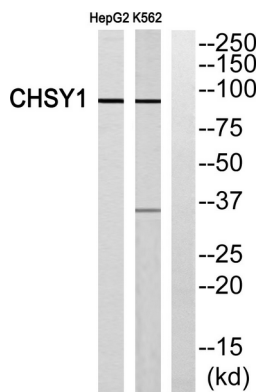
背景

この遺伝子は、コンドロイチン N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼファミリーのメンバーをコードしています。これらの酵素は、グルクロン酸転移酵素とガラクトサミニルトランスフェラーゼの二重活性を有し、細胞増殖や形態形成を含む多くの生物学的プロセスに関与するグリコサミノグリカンであるコンドロイチン硫酸の生合成において重要な役割を果たしています。この遺伝子の発現低下は大腸癌に関与している可能性があり、この遺伝子の変異は、軸前性短指症候群の原因となります。 [RefSeq 提供、2011年12月],触媒活性:UDP- α -D-グルクロン酸 + N-アセチル- β -D-ガラクトサミニル-(1 \rightarrow 4)- β -D-グルクロノシル-プロテオグリカン = UDP + β -D-グルクロン酸-(1 \rightarrow 3)-N-アセチル- β -D-ガラクトサミニル-(1 \rightarrow 4)- β -D-グルクロン酸-プロテオグリカン。触媒活性:UDP-N-アセチル-D-ガラクトサミン + β -D-グルクロン酸-(1 \rightarrow 3)-N-アセチル- β -D-ガラクトサミニル-プロテオグリカン = UDP + N-アセチル- β -D-ガラクトサミニル-(1 \rightarrow 4)- β -D-グルクロノシル-(1 \rightarrow 3)-N-アセチル- β -D-ガラクトサミニル-プロテオグリカン。補因子: 二価陽イオン。コバルト、マンガン、カドミウムで最も高い活性が測定される。機能: β -1,3-グルクロン酸および β -1,4-N-アセチルガラクトサミニルトランスフェラーゼ活性の両方を有する。UDP-GlcUA からグルクロン酸 (GlcUA) を、UDP-GalNAc から N-アセチルガラクトサミン (GalNAc) を伸長中のコンドロイチンポリマーの非還元末端へ転移する。オンライン情報: コンドロイチン硫酸合成酵素 1,オンライン情報: GlycoGene データベース,類似性: コンドロイチン N-アセチルガラクトサミン転移酵素ファミリーに属する。サブユニット: CHPF に結合する。組織特異性: 普遍的に存在し、胎盤に最も多く存在する。脳、心臓、骨格筋、結腸、胸腺、脾臓、腎臓、肝臓、副腎、乳腺、胃、小腸、肺、末梢血白血球にも低濃度で検出される。、

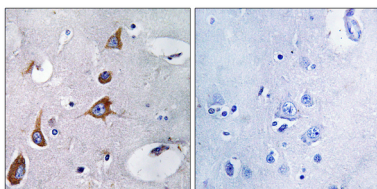
研究分野

コンドロイチン硫酸の生合成;

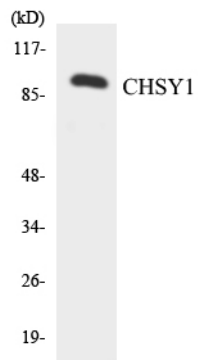
画像データ



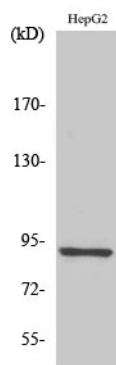
CHSY1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは CHSY1 ペプチドでブロッキングされている。



CHSY1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右レーンは CHSY1 ペプチドでブロッキングされている。



CHSY1 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



CHSY1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析